

## 交流ひろば

### 7月29日 楊貴妃の舞楽



舞姫、こころ（胡紅侶）の日本における舞踊活動二十周年の記念公演が7月29日神戸文化ホールで開催されました。第一幕は中国古典舞劇「楊貴妃の舞楽」で、唐王朝の玄宗皇帝との愛に生きた楊貴妃の光と影の生涯を踊りで表現した舞による劇。後宮三千人と高力士をはじめとする宦官に迎えられた華麗なる楊貴妃の登場で始まる。それに続く、玄宗皇帝の作曲した「霓裳羽衣（げいしょううい）の曲」に合わせて踊る天女たち。また、牡丹満開の沈香亭（じんこうてい）で酔った楊貴妃の妖艶な舞。足を踏み鳴らすリズムカルな民衆の踏歌の舞。「雲には衣装を想い花には容を想う…」と、楊貴妃を称えた李白の「清平調（せいへいちょう）の詩」を表現する魅惑的な踊り。豪華絢爛たる楊貴妃の舞が続きますが、栄枯盛衰は世の常、「安祿山の乱」で、玄宗皇帝と楊貴妃は都、長安を追われる。逃げ落ちる途中、馬嵬（ばかい）の地で楊貴妃は非業の死を遂げる。二人の愛と悲劇を歌った白居易の「長恨歌」「天にあっては比翼の鳥となり、地にあっては連理の枝とならん…」の朗読の下に哀しみの舞が展開される。最後は美しい天女になって空で乱舞する楊貴妃の舞で幕を閉じる。

今年は楊貴妃生誕千三百年の記念の年でもあり、ピッタリの公演でありました。壮大なスケールと魅惑的な歴史ロマンの大作は満席の聴衆にさわやかな感動を与えました。

（中国古代史同好会代表 吉村 晴夫）

### 8月24日 梅蘭芳初来日公演100周年記念美術展



中華会館にて梅蘭芳来日百周年記念美術展開幕式に林同福会長のテープカット、越劇代表の中山文先生が中国語であいさつされ、友の会から大勢参加しました。100年前、神戸新開地の劇場での上演会が大盛況等、神戸華僑との縁の深いことなど、興味深く拝見しました。（後藤みなみ）

### 9月6日 日中文化交流イベント

実行委員である会員で中国武将の岳飛の末裔の岳迅飛さんによるのご案内で、林会長をはじめ、役員、会員多数で参加しました。京劇、武術、書道名家の実演、漢方医学では漢方医による脈診など、中国の4大伝統文化についてのパフォーマンスを見ました。（後藤みなみ）



### 10月10日 台湾国慶節行事に参加して



10月10日、台北は朝から快晴。夏を思わせる日差し。中正紀念堂前の自由広場で三十分以上待ち、荷物検査。警備員や警察官の居並ぶ中を会場に向かう。総統府の前の広大な会場に入ると何千・何万？という人々が開会を待つ。沢山の黒いスーツ姿のSP風の若者が厳しい顔をして立っている。男性が写真を撮ろうとすると、警備員が駆け寄り制止、会場内は写真撮影が厳しく禁止されている。前日からのパスポートチェック、許可証作成、入場時の再確認なども含め厳重な警備体制は時代の趨勢か。総統府の煉瓦の赤と縁取りの白との対比が空の青に映え、屋上に立ち並ぶ晴天白日満地紅旗も鮮やかにはためく。数多のパフォーマンスや挨拶等の後、蔡総統が登壇。会場は大いに盛り上がり、全員が総統の演説に聞き入る。降壇後、陸海空軍楽隊はじめ各団体の山車やダンスによるパレードが延々と続いた。式典に登場した武器兵器は、陸海空軍儀仗兵が所持する小銃と会場の上を一瞬飛び去った戦闘機ぐらいで、戦車もミサイルも登場しない大変平和な式典であった。演説等、単語は少し理解できても全体の意味が分からない。「もっと中国語を勉強しなければ」と深く反省！式典参加にあたっては多くの方々にお世話になりました。

衷心感謝！（眞崎徹彦）